

ケニア半砂漠地域にあるイシンヤ地区の 学校での環境教育を兼ねた植林緑化活動

ひろげる助成

1年目

実践

植林 6,000本

植林活動参加者 3,131人

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 45%



環境教育講義を受けるモイ女子校の生徒達

課題

ケニアのイシンヤ地区は慢性的な干ばつ状態に加え、家畜の過放牧等で樹木が失われている。しかし住民のマサイ族には環境保全の意識や慣習がなく、砂漠化が進んでいる。

目標

学生と住民が植林緑化活動意識を向上させ、学生は自身が植えた苗木の世話を継続する。デモファームで作った野菜が給食で提供される。現地農業省が活動推進体制を整える。

活動内容と成果

●イシンヤ地区5校で一人の児童が一本の木を植え、育てる植樹活動(「一緑運動」)を実施し、生徒、教職員、保護者計3,131人が6,000本を植樹 ●学生と教師に環境教育を実施し、計1,777人が参加 ●5校に野菜用のデモファームを設置 ●アグロフォレストリー研修を実施し、5校で計1,777人が参加 ●5校で教諭に環境保全会議を実施し、計20人が参加 ●5村のリーダーと学校関係者に合同地域開発研修を1回実施し、20人が参加 ●持続可能な活動のための体制構築に向け、農業省と連携会議を4回実施し、計40人が参加



保護者も子供達と一緒に植樹活動に参加

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

デモファームを設置し野菜作り指導を行ったが、暑さや水不足等の厳しい自然環境のため点滴灌漑等の設備が別途必要になった。

■工夫した点

地域開発研修を各村で実施予定であったが、5村合同研修にしたことで村同士の連携体制が構築された。

| 活動地域 |  ケニア

〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷4-1-22-2F
電話：03-3484-5092
E-mail: staff@icajapan.org
http://www.icajapan.org



今後の
展望

活動実施地域では、学生や学校関係者に加え、住民の活動への関心が高かったことから、今後実施予定のイシンヤ地区8村では地域住民をボランティア等で多く取り込みながら、地域に根ざした活動展開を図っていく。

